

会議の名称	第6回茨木市水道・下水道事業審議会
開催日時	令和5年2月21日(火) (午前)・午後) 10時00分 開会 (午前)・午後) 11時15分 閉会
開催場所	茨木市福祉文化会館 202号室
議長	仲上 健一
出席者	仲上 健一、岡崎 利美 【以上、学識経験者 2人】 山野 一弥、北舎 和彦 【以上、事業関係者 2名】 八木 香織、佐名川 玲子 【以上、利用者団体から推薦された者 2名】 角谷 伸一郎、井上 しょうじょ 【以上、公募市民 2名】 【8名】
欠席者	【0名】
事務局職員	足立副市長、福岡水道事業管理者、酒巻水道部次長、 岸本水道部次長兼営業課長、田邊水道部次長兼工務課長、 松本水道部総務課長、伊藤浄水課長、 池田水道部総務課長代理兼総務係長、堀井水道部総務課企画係長、 水道部総務課職員 藤田建設部長、福田建設部次長兼下水道施設課長 松野下水道総務課長、前田下水道総務課長代理兼経理係長 金馬下水道施設課長代理兼工務係長、渡邊下水道総務課総務係長、 梶下水道施設課管理係長、参河下水道施設課計画係長 【19人】
開催形態	公開
議題(案件)	(1)パブリックコメント及び庁内意見募集の意見とその対応について (2)答申(案)について (3)その他
配布資料	(配布資料) ・会議次第 ・提出された意見及び市の考え方(下水道) ・茨木市下水道等事業経営戦略 令和5年(2023年)度▶令和14年(2032年)度(案) ・提出された意見及び市の考え方(水道) ・茨木市水道事業ビジョン・経営戦略(案)2023-2032 ・答申(案)

## 会 議 録

### 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
仲上会長	第 6 回茨木市水道・下水道事業審議会を開催します。 本日の審議会委員の出席状況について事務局から報告をお願いします。
堀井係長	本日の審議会委員の出席状況について報告します。 委員総数 8 名のうち、出席者 8 名、欠席者はございません。 委員過半数のご出席を頂いておりますので、茨木市水道・下水道事業審議会規則第 6 条第 2 項により、本会議は成立致しています。
仲上会長	定員を満たしているということですので、このまま会議を進行します。 今回の審議会では水道・下水道等事業とも、パブリックコメントを実施しましたので、頂いたご意見に基づく修正について審議し、答申（案）を確定したいと思っておりますので、宜しくをお願いします。 それでは、案件 1「パブリックコメント及び庁内意見募集の意見とその対応について」、事務局より説明を受けたいと思っております。 まず、下水道等事業からお願いします。
前田 課長代理	（「パブリックコメント及び庁内意見募集の意見とその対応について」下水道等事業の説明）
仲上会長	ただ今事務局から説明がありましたが、修正内容について、ご意見ご質問はございますか。
山野副会長	No17 の所で、財政シミュレーションにおいて、物価上昇率を見込むと書いてありますが、実際シミュレーションの中ではどのくらい見込んでいますか。
前田 課長代理	以前の審議会で説明しました通り、事務費には、物価上昇率 1.1%を見込んでいます。同じ率を工事費の方にも見込みました。
山野副会長	水道はどうですか。
松本課長	動力費や修繕費で約 20%程度見込んでいます。工事の方は、令和 4 年度の工事の金額を見込んでいます。
山野副会長	物価上昇について、どういう根拠で何%見込んだか、分かるようにコメ

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
仲上会長	ントか解説か何か簡単に入れて頂いた方が良くと思います。
山野副会長	シミュレーションの考え方をいれるということですね。
松本課長	水道の方ですが、財政シミュレーションについて、77 ページに、投資・財政計画の前提条件という項目があり、そちらで説明書きをさせて頂いています。
仲上会長	今の時代の物価上昇というのは何十年に一度くらいの上昇になっているので、非常にシミュレーションがやりにくい時期といえますか、特に令和5 年度は難しいとは思いますが、そういう意味ではどんなに計算をしてもふさわしい値が出てくるとは限らないので、どういう根拠でどう考えているのかという事は、しっかりと書いた方が良くという意見ですので、また検討をお願いします。
八木委員	それと絡んで、38 ページの所で、物価上昇率 1.1%を見込んでいる理由は載っていませんが、このアスタリスクが「営業費用・建設改良費については」となっているんですが、建設改良費の所についていなくても良いのでしょうか。
前田 課長代理	建設改良費にアスタリスクをつけます。
北舎委員	この 38 ページの下にある注釈を表 5-7 の下にも注釈で書いておけば分かりやすいですね。 半導体不足によって下水道の製品はかなり値上がっていますし、今回文言を見直す時に根拠も追加して頂ければと思います。 管渠のストックマネジメントで、33 ページ、健全率予測式の注釈の所で、ストックマネジメント計画の数値という所の根拠を書いているので、劣化調査に基づいてその度合いを算出する方法を書けば良いかなと思います。 注釈の 1 行目は時間計画保全みたいな話で、この様に書いてると思うのですが、実際は状態監視保全で予測をされてるということだと思いますので、2 行目をこの健全率予測式の注釈に表記すれば良いのではないのでしょうか。 健全率予測式と言いますか、経過年数を用いたものも使っているから、

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	複合しているという事でしょうか。
梶係長	健全率予測式を用いる前に、経過年数がある程度経ってる所に絞って調査して、その結果から劣化を予測し、健全率を予測しています。
北舎委員	では「経過年数の代わりに」、という言葉が少し違和感があります。ある程度経ってるものに対して劣化予測をしているという事ですかね。
仲上会長	この文章では経過年数の代わりに使ってるように感じますね。
北舎委員	そう感じます。実際テレビカメラを入れた管渠であれば調査しますしね。
仲上会長	北舎委員が言われたように、少し理解しにくい文章になっているので、検討して下さい。
前田 課長代理	修正内容を調整します。 先程の1.1%の説明ですが、令和4年の1月頃に国から物価上昇率を経営戦略のシミュレーションに用いるように通知が出ましたが、物価上昇率を乗せると数値が大幅に変わってしまうため、後ろ倒しにすると審議に影響がでます。調査したところ、日本銀行が同年1月に経済・物価情勢の展望を発表しており、それを参考に物価上昇率を1.1%にしています。
仲上会長	はい。色々ご意見出ましたけれども、その部分は少しご検討頂き、まとめて頂ければと思います。 それでは、茨木市下水道等事業経営戦略についてはこの内容で確定とさせていただきます。続きまして、水道事業の説明をお願いします。
堀井係長	(「パブリックコメント及び庁内意見募集の意見とその対応について」水道事業の説明)
仲上会長	はい、ただ今事務局から説明がありましたが、修正内容についてご意見ご質問はございますか。
山野副会長	「提出された意見等及び市の考え方」のNO, 15において、水道が国交省へ移管されることについて、ビジョンに記載しなくて良いのでしょうか。ただし、ビジョン公表の時期によって書き方を決めればよいと思います。

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
岡崎委員	事業内容に直接関わりがないのであれば、所管の移管はあくまで内部の組織のことなので、記載する必要はないのではないのでしょうか。
山野副会長	一応、ビジョンにおいて“厚生労働省”を検索し、文章のつながりを確認してください。
岡崎委員	<p>ビジョン P, 77 において、物価上昇の設定を具体的に記載したほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>どのような数値を入れていても、必ず不満がでてくると思うので、この部分については、記載しているということが必要だと思います。</p>
松本課長	記載については、下水道と調整して記載します。
北舎委員	概要版は、以前のビジョン及び経営戦略でも出していますか。
松本課長	以前も概要版はありましたので、今回もビジョン本編をもとに、概要版を作成します。
角谷委員	<p>「提出された意見等及び市の考え方」の NO, 11 において、動力費の内訳として、何が一番大きいのでしょうか。</p> <p>水道事業における「動力費」の多くは電気代であると考えられ、「燃料高騰」とのつながりが大きいとは思えないのですが。</p>
松本課長	水道では、“電気”で施設が動いていますが、電力会社における「電気を作るための燃料高騰」により、電気代が増大しているという意味で、「燃料高騰」という表現をしています。
井上委員	「提出された意見等及び市の考え方」の NO, 2 の質問の意図は、具体的な回答を期待しているのではないのでしょうか。
松本課長	ビジョンの P, 23 の内容は、施設の統廃合について整理しており、施設の利活用についてである P, 43 課題 7-②と分けて記載しています。
仲上会長	<p>P, 23 の内容については、施設の統廃合を行うという一般論であり、野々宮配水場だけではなく、総括した表記であり問題ないと思います。</p> <p>それでは、ご意見頂きましたので、事務局の方にご検討頂いて、茨木市水道事業ビジョン経営戦略についてはこの内容で確定したいと思います。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
堀井係長	<p>それでは案件 (2) 答申 (案) についてですが、答申 (案) を作成致しましたので、事務局から読み上げをお願いします。</p> <p>(答申 (案) 読み上げ)</p>
仲上会長	<p>この文案は、この審議会から市長への答申の鑑文になります。審議会として盛り込みたいご意見等はございませんか。</p>
岡崎委員	<p>2段落目の5行目の所で、「財政の健全化に取り組む」という言葉があるんですが、今現在、財政状態が悪化している訳ではないので、健全な財政であるならば、「健全な財政の維持に取り組む」で良いのではないかと思います。</p>
松本課長	<p>財政の健全化というのは、今決まり文句のフレーズみたいになってしまっていて、そういった形で事務局の方でここはこういう表現を提案させていただきました。</p>
山野副会長	<p>決まり文句があっても、岡崎先生が言われたように健全な財政の維持で良さそうな気がします。</p>
角谷委員	<p>必要と書いてあるから少し違和感がありますが、常に配慮しないとイケないのは事実ですよ。少し表現を柔らかくするとか。</p>
仲上会長	<p>しかし今は財政健全ですが、この10年間を見て、計画期間内において、常に財政の健全化を図るといような、長期的に見たらこの文章は良いと思います。茨木市の状態を知らない人でも、岡崎先生が言われた文言なら、茨木市は今財政が良くて、これを維持しようという意思が表れていると感じる人も出てくると思います。</p>
岡崎委員	<p>市長に答申するのであり、一般向けではないのであれば取り下げます。</p>
仲上会長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>できれば、最後になりますので一人一人ご意見頂けたらと思います。</p>
八木委員	<p>特に私の方から追加修正の意見はありません。</p>
角谷委員	<p>今の話は、結局「取り組む必要」のままにしておくのですか。それとも</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	「健全化に配慮する」等に修正するのですか。
仲上会長	計画期間内に、という事があるので、今の状況も踏まえませんが、結局10年間においても財政の健全化は強調しましょうという受け止め方をしたらこれで良いのではないかと思います。
角谷委員	本編の方の体裁ですが、下水道の資料の最後のページにパブリックコメントと庁内意見の件数の書き方は水道と合わさなくても良いですか。
前田 課長代理	下水道の件数を1つにまとめ、同じ書き方にします。
井上委員	特に意見はありません。
佐名川委員	料金改正の事や、多発している大規模な自然災害におけるバックアップ等、財政の事も、バランスの取れた事業経営が必要だと書いていますので、私達が思ってる事を書いて頂いていると嬉しく思いました。
北舎委員	少し気になりまして、「今後中央ポンプ場の建て替え等～」という所ですが、建て替え等を長寿命化によって費用軽減していくという風に捉えられかねないため、「中央ポンプ場等の施設の老朽化により増加していく改築需要」という風にした方が良くと思います。下水道ストックマネジメントというのは管渠も施設もすべてを指していると思いますので、少しそこを考慮して工夫して頂ければと思います。 あと、一番最初の3行の、「パブリックコメント制度による幅広い市民等の意見を踏まえ～」という所ですが、パブリックコメント制度の意見は、最後に頂いていますので、「制度による市民の意見ももらいながら審議してきた」というのが、この審議会ですらやってきた事かと思えます。
仲上会長	この2か所については、修正内容を検討させていただきます。
山野副会長	水道と下水道で揃っていたら良いなと思う所はありました。
仲上会長	それでは後日、市長への答申を行いたいと思います。 修正につきましては、私にご一任頂きたいと思います。 この審議会も今日で終わりになります。 各委員から活発な意見が出まして、6回にわたって茨木市の10年後の見

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>通しがかなりできたのではないかなと思います。</p> <p>特に山野副会長には、最初から最後まで厳しいご意見を頂きました。</p> <p>水道行政も今大きく変わろうとしています。来年の4月くらいには厚生労働省から国交省と環境省になります。これは少し歴史を言いますと、昭和20年代に、水道事業はどちらの省庁にするのかと大議論があって、結果として厚生労働省になっています。</p> <p>省庁が変わっても水道というのは国民の命の水という事で、それは変わりませんので、引き続き、審議会の議論の成果をこの報告書にして、それを着実にやって頂きたいと思います。</p> <p>どうも色々ありがとうございました。</p>
松本課長	<p>ここで両事業を代表しまして、足立副市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
足立副市長	<p>(挨拶)</p>
松本課長	<p>今回の会議録につきましては、後日、市のHPの方に掲載します。</p> <p>また答申につきましては、後日、会長より市長へお渡し頂き、こちらもHPに掲載します。</p> <p>それでは、最後になりましたが、今後とも、水道・下水道等事業の推進にご厚誼賜ります様お願い申し上げます。これで、水道・下水道事業審議会を終了させていただきます。長期間にわたりありがとうございました。</p>